

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	画像観察	
科目基礎情報							
開設学科	柔道整復科		コース名			開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材	資料（こちらで用意する）						
担当教員情報							
担当教員	松山 俊			実務経験の有無・職種	有・柔道整復師		
学習目的							
実際の各種の画像と病態の結びつきを理解することを目的としている。具体的には、単純エックス線写真、断層エックス線写真、ＣＴスキャン、ＭＲＩ等の原理、画像のみかた、および所見から推測される病態について理解することを目的としている。 画像に関する基本的な知識、画像に関連する疾患・病態の知識、それらを応用した論理的な読影能力および疾患の鑑別に能力ついて理解することを目的としている。							
到達目標							
各種撮影法の基本原理と画像診断の理論を理解し、柔道整復師で扱う代表的疾患の画像を供覧する。画像に関する知識は、柔道整復師として患者の病態を把握し、施術・後療・全体のプログラムを作成していく上で重要な基礎となる。 日常の臨床で多用する画像を用いて人体がどのように観察されるのかを解説し、臨床画像を通じた基本的画像解剖を理解する。 各種医療画像の理解における人体構造の重要性と、各種検査における安全管理の必要性を理解する。							
教育方法等							
授業概要	画像診断には、主に柔道整復師に代表される病態について、単純X線写真、ＣＴ、ＭＲＩ等の読影法と鑑別診断を学ぶ。						
注意点	画像評価による見落としのミスの恐れがあるため、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視するとともに授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。医療社会の現場の動きや学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の４分の３以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	0%					
授業計画（１回～１５回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
１回	放射線について		放射線の定義、単位、性質、作用などについて理解する				
２回	放射線について		放射線の様々な影響について理解する				
３回	頸椎の撮影		頸椎の方向撮影法を理解する				
４回	胸椎・腰椎の撮影		胸椎、腰椎の方向撮影法を理解する				
５回	骨盤～膝関節の撮影		骨盤から股関節周囲の方向撮影法を理解する				
６回	膝関節の撮影		膝関節の方向撮影法を理解する				
７回	足関節の撮影		足関節の方向撮影法を理解する				
８回	１回から７回の振り返り		１回～７回の知識が蓄積されているか確認する				
９回	足部の撮影		実際の撮影において、足部の方向撮影法を理解する				
１０回	肩関節の撮影		肩関節周囲の方向撮影法を理解する				
１１回	肘関節の撮影		肘関節周囲の方向撮影法を理解する				
１２回	手関節の撮影		手関節の方向撮影法を理解する				
１３回	手～指の撮影、MRI		手から指の部分の方向撮影法を理解する　ＭＲＩ構造について学ぶ				
１４回	９回から１３回の振り返り		９回～13回の知識が蓄積されているか確認する				
１５回	半期の総括		全体のまとめ				